



### 字を書こう、たくさん書こう

書道教室に通う高校生の佳奈は、書いても書いても上手くいかない日や、書いて書いて何かを越えた気がする日などを経験しながら、書道を続けている。先生は「字には個性があらわれる」と言うけど、私にしか書けない字って何だろう…？書を通して自分の気持ちと向き合い、伝えていく物語。



『葉桜』橋本 紡／著 集英社

「道」がつく伝統芸能・武術の小説



かっこいい！クール！な日本の伝統をモチーフ(素材)にした小説をあつめてみました。あなたの心に響く作品はあるかな？



### 茶道

#### 茶の心得なしは無茶！

幼馴染のナツメのお願いで、茶道部に入部することになった陽介。初めてのことばかりの茶の心得に戸惑いながらも、部活は思いのほか楽しい時間となっていく。気がかりはナツメの隠し事。その答えは茶道にある？  
茶道の世界が「読んで」体験できる。



『はじめまして、茶道部！』服部 千春／作、小倉 マユコ／絵 出版ワークス



### 弓道

#### わたし、絶対負けたくない

弓道部所属の凧は、毎日稽古に励む弓道中心の生活。しかし、ここしばらく、思うような成果があげられずにいた。そんな中、恩師の道場で事件に巻き込まれ、凧の日常に少しずつ変化があらわれはじめる。弓道とミステリー、どちらも楽しめる作品。



『凧の弦音』我孫子 武丸／著 光文社



### 剣道

#### 好敵手との出会い、果たして

はじまりは中学三年生の最後の試合。絶対勝ちたいと思っている香織と勝ちにこだわらない早苗。正反対の二人が出会うべくして出会う。剣道部を舞台に広がる、女子対女子の闘いを描いた青春小説。



『武士道シックスティーン』菅田 哲也／著 文藝春秋  
シリーズ全4巻





## 落語

### たぬきが落語家に弟子入り!?

四国の山奥に住むこだぬきが、落語のカセットを聴き、落語の大ファンに。「かっこいいたぬきが出てくる落語を作りたい!!」という熱い気持ちを胸に、ひとり(一匹)『上方』を目指す。そしてその道中で出会った落語家・木の葉亭枝鷺に、なんと弟子入りしてしまう。笑いあり涙あり、こだぬきの落語家修業のおはなし。



『化けてます こだぬき、落語家修業中』  
遠原 嘉乃/著  
双葉社

中学生でプロ棋士になった天才少年の“なぜ強いのか？”に迫る本です。将棋を知っている人も知らない人も楽しめる一冊です。



『藤井聡太 名人をこす少年』  
津江章二/著 日本文芸社



## 歌舞伎

### 歌舞伎座で何かが起きる!!

家事手伝いの久澄は、祖母からアルバイトを頼まれる。劇場の座席に数時間座り、感想をメールで書くだけで5千円という簡単なお仕事。最初に送られてきたのは歌舞伎のチケット。緊張しながらの歌舞伎観劇で、久澄は『目撃者』になる。



『歌舞伎座の怪紳士』  
近藤 史恵/著  
徳間書店

### 一緒に俳句を楽しもう

芸人・作家の又吉さんが、俳人(俳句を作る人)堀本さんに俳句の基本的なきまりを優しく丁寧に教えてもらう。2人のテンポのよい会話で、『堅苦しい』『難しい』という俳句のイメージが一変する。俳句を作りたくなる一冊。



## 俳句



『芸人と俳人と』  
又吉 直樹  
・堀本 裕樹/著  
集英社

## 相撲

### 辛いことでも、工夫すると楽しくなる

大関治 15歳。中華料理屋でナゾの兄ちゃんから「横綱になれるオーラがある」と言われ、悩んだ末に相撲部屋への入門を決意。稽古は辛いことも多いけれど、工夫して楽しく取り組むようにしている。横綱を目指してがんばる治を応援したくなる作品。



『セキタン! ぶちかましてオンリー・ユー』  
須藤 靖貴/著 講談社

### 将棋に熱く向き合う人々

こども将棋教室に通う小学生、将棋会館の清掃員、将棋担当の新聞記者、プロ棋士を目指す青年、ベテラン棋士など、将棋に関わる人々が主役の短編集。一人一人形はちがうけれど、将棋に熱く向き合う姿が描かれている。



## 将棋



『駒音高く』  
佐川 光晴/著  
実業之日本社